

令和2年5月1日

茅ヶ崎中学校だより 5月号

横浜市立茅ヶ崎中学校 TEL 941-0601

校長 高山 俊哉 FAX 942-9216

E-mail: y2chigas@edu.city.yokohama.jp

学校HP: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/chigasaki/>



「苦難の中で」

校長 高山 俊哉

コロナ禍による学校の休校ももう2か月に及びました。40年になる茅ヶ崎中の歴史の中でも2か月間校舎に生徒の声が響かなかったことはありませんでした。文字通りわが国が経験したことない未曾有の大きな災害となってしまいました。

保護者や地域の皆様にも年度当初のご挨拶ができず、また、新入生と保護者の皆様方には直接お祝いをお伝えすることもできず、大変申し訳ありませんでした。あらためましてご入学おめでとうございます。

これまで、卒業式や入学式で幾度か、「今こそがんばって」という話を繰り返してきましたが、学校が再開されず、様々なものの中止が続々と決まっていき、先が全く見えない中、生徒の皆さん、特に三年生はとても大きな不安をかかえていることと思います。皆さんの気持ちを考えると簡単にはかける言葉も見つかりません。一日も早く学校に行って普通の生活を送りたいと強く思っていることと思います。



校内放送による入学式の様子

学校の職員もたった一日の入学式・始業式で皆さんの顔を見ただけです。皆さんと一日も早く正常な学校生活を送りたいと思っています。皆さんの不安を少しでも和らげられるようにとあれこれ工夫と試行錯誤をしているのですが、多くのハードルがあつてなかなか皆さんとコミュニケーションをとりながらの学習を進めることが出来ません。これまでいくつもいくつも学校再開のプランを作ってはやり直しを繰り返してきました。幻に終わった4月、5月の予定表が何枚もたまりました。しかし、このあとも学校としてできる限りのことを考えていきたいと思っています。



教室でテレビ放送を見る様子

このような中、医療従事者をはじめ、社会を支える多くの人たちが頑張っておられます。毎日毎日多くの方が様々な工夫をして少しでも前を向こうと努力をしてくれています。厳しい状況の中、お互いに助け合って困難を乗り越えている人たちがいます。反面、自分勝手な振舞いで周囲の人に気持ちを向けられない人の話も聞きます。こんな状況下でも困っている人たちをだまそうとする者もいます。このような余裕のない厳しい状態のときにその人の本性が出てくるような気がします。だれもが不安・だれもがストレスをかかえています。しかし、この苦難もいつかは終わります。夜明けの来ない夜はありません。トンネルを出て再びかつてと同じ日々が戻ったときに恥ずかしくないようにしていなくてはと思います。

主役である生徒がいなくても学校の周囲はいつもお世話になっている「花いっぱいプロジェクト」の皆さんが手入れをしてくださっている花でいっぱいです。あるじの帰りを今か今かと待っています。一刻も早い皆さんの声が響く学校の再開を祈っています。

新しい先生たちをお迎えしました

今年度、本校には8名の職員が新たに着任しました。生徒、保護者の皆さんと顔を合わせて、親しく言葉を交わす場面を全員が心待ちにしています。茅ヶ崎中の一翼を支えられるよう心を尽くして取り組んでまいりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

山中 裕子	副校長	家里 拓也	数 学
野村可南子	事務長	木村 美緒	保健体育
石崎 雅人	国 語	加藤あけみ	初任者指導
八角 遼	社 会	山口 茜	事務職員

○茅ヶ崎中学校では、図書室の充実のために教職員の司書教諭のほかに学校司書を配置しています。学校司書は昨年に引き続き 野村 真由美 先生です。

陽気の変化を感じながら・・・

－10組の受け入れの様子から－

4月の休校中、10組では生徒受け入れをおこなってきました。教室内で学習やアクティビティに取り組み、時には外でレクリエーションも行っています。最初の頃はまだまだ肌寒く、風が冷たく感じられる時が多かったのですが、5月を目の前にして日差しがある日はあらかじめ、長そでのジャージを脱いでから活動を始めたり、水分補給のための水筒をもって外にでるようになっていきます。



みんなができるようにサポートします

間隔をとり、マスク必須で、みんな準備運動から始めます。3年生が後輩たちを上手にリードしています。やりやすいように前進して距離を短くしてあげたり、ボールを優しく渡してあげたりする姿が先輩としてだけでなく、自分たちが仲間を牽引していくのだという先輩らしさや頼もしさを感じさせてくれます。こうした交流を通して、ゆっくりとクラスのまとまりが生まれていくのだと思いました。

毎回外での活動には先生方も多く参加しています。フル参戦の先生もいるようです。ゲームのやり方やルールを確認してよいよ開始。すぐにみんなの掛け声や先生方からの声援でにぎやかになります。毎回みんなを飽きさせないゲームを考案しているのは石島先生です。朝早くからグラウンドであれこれ準備をしている姿を見かけました。今日は、ゲームに使用するボールキャッチのためのネットを手作りして持ってきていました。鈴木先生からも10組ではいろいろなものを手作りして教材にしていると聞きました。担任の先生の努力とみんなの協力、盛り上げてくれる先生方の参加で、毎回とても楽しく微笑ましい時間になっています。



半袖姿の10組面々はやる気満々



ネットでボールをナイスキャッチ



休校延長の可能性が否めない中、学習&生活面の相談ができるように・・・と考え、そのための準備を進めています。もちろん予定通り再開となり、今まで通りの生活がスタートできれば良いですが、そこまでの状況には至っておらず、なかなか難しそうです。

そのため、学習課題を準備することと並行して、みなさんが家庭で学習を行う際に、聞きたいことや困っていることがあれば、メールを使用して対応していこうと、現在システムを準備しているところです。教科を指定して質問を送れば、その教科の先生方からアドバイスが返ってくるようになります。また、学年の先生に教科以外のことで相談したいことがあれば、それもできるようにしようと担当の先生が頑張っている様子を整えています。詳細については延長が確定した段階で、学校HPで発信しますので、それを見て必要に応じて活用してください。学校も先生方もアイデアを出し合い、できることはやっぺいこうと毎日あれこれ思案しています。まずは皆さんの困りごとに対応するための大切な手立てとして上手に役立ててください。

玄関横でひそかにめざましい生育ぶりです

静かな佇まいをみせている校舎内外の片隅で、ひそかに育まれているのがこの小さな畑の主、『ジャガイモ』です。植えてから葉がみるみる育ってききましたが、そのままにしておいては、おいも部分が大きくなならないからと、以前から指南してくださっている吉野様が来校されて苗を間引いてくださいました。

密集していたのが、余裕が生まれて存分に根や茎を伸ばしているはず。栄養を蓄えておいしいおいもが収穫できるように10組のみんなが育ててくれると思います。乞うご期待！



みんなが登校するころには…？

お知らせ

■「わいせつ・セクハラ」行為防止のための校内相談窓口として担当者を配置しております。

養護教諭：齋藤 摂子 教諭

生徒指導専任：高橋 壘 教諭

*教育総合センターの一般教育相談もセクハラ相談窓口として利用できます。

(TEL 671-3726 月～金 9:00～17:00)